



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか



令和4年(2022年)
10月5日
水曜日
第252号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県教育委員会事務局教育DX(ディーエックス)推進課は

ICTの活用を推進しています!

- 1 県の学校教育の情報化推進の方向性を示す「ふじのくに学校教育情報化推進計画」を策定しました。
- 2 1人1台端末環境の円滑な運用支援のために「GIGAスクール運営支援センター」を設置しました。
- 3 教職員のICT活用指導力の向上に努めています。

① ふじのくに学校教育情報化推進計画(R4~R7)

※市町は国・県計画を基本として計画策定(努力義務)

変化の激しい時代において、問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用できる能力を有し、他者と協働して新たな価値を創造する社会の実現に貢献できる人材の育成を目指します。

ふじのくに学校教育情報化推進計画の全文はこちら▼



スクールDXの推進

- ▶ デジタル技術を活用して学校教育を変革、学びの最適化、学校運営の高度化・効率化
- ▶ 多様なデータ連携が可能な統合的なデジタルプラットフォームの構築
- ▶ ICTの活用を前提にした新しい時代にふさわしい教育のあり方の追究

ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成

- ◆ 学び・指導のスタイルの変革による児童生徒の情報活用能力の育成
- ◆ 特別な支援を要する児童生徒の学びへのICT活用
- ◆ 児童生徒の情報モラルや情報セキュリティ意識の向上

教職員のICT活用指導力の向上と人材の確保

- ◆ 教員のICT活用指導力の向上
- ◆ ICT運用サポートによる学校現場・市町支援

ICTを活用するための環境の整備

- ◆ 1人1台端末環境や安定した通信環境等の確保
- ◆ 情報セキュリティ対策の徹底

ICT推進体制の整備と校務の改善

- ◆ ICTの校務効率化への活用を通じた教職員の負担軽減
- ◆ 市町など多様な主体との連携による知見の共有

② GIGAスクール運営支援センター

※市町立学校の方は市町教育委員会へお問い合わせください。

GIGAスクール運営支援センター



民間事業者



ヘルプデスク

運営

- ◆ 県立学校のICT運用を総合的に支援
- ◆ 専門性の高い技術支援等を安定的に提供
- ◆ 故障時等はメーカー等と連携して支援



県立学校



ヘルプデスク

9月1日から、県立学校からの照会対応や技術支援のため、ヘルプデスクを開設しました。ヘルプデスクでは授業改善や校内での研修などを行うICT支援員の派遣も実施しています。

電話 054-204-3561

メール gigacenter@neg.edu.pref.shizuoka.jp

ポータルサイト <https://sites.google.com/neg.edu.pref.shizuoka.jp/shizuoka-pref-giga-portal>

③ 教職員のICT活用指導力向上

研修管理システム

研修内容の詳細



申込みはこちら



eゼミナール(常設コンテンツ)

令和4年度
情報セキュリティ入門

令和4年度
アプリケーションの使用方法

令和4年度
ICTを活用した授業動画の共有

eラーニング

情報セキュリティ全般(意識や対策等)
※12月まで受講可

eラーニング

授業に役立つアプリケーションの紹介等
※2月まで受講可

小中高のICTを活用した授業が38本UPされています。是非視聴をお願いします!



出前講座

市町教育委員会や県立学校への出前講座も実施しておりますので気軽にお問い合わせください。



【教育DX推進課】TEL 054-221-3391

実践NOTE501 「理解し 書いて 伝える」～伝える力の育成に向けての実践～

静岡市立中藁科小学校 教諭 石川 翔三

○課題である「伝える力」

中藁科小学校は全校児童68名の小規模な学校です。子どもたちは6年間同じ学級で過ごすことで安心感をもって生活しています。一方で、クラス替えがないために人間関係が閉鎖的であり「発言する人」「聞く人」といった固定観念が形成され、自分の言葉で表現できないことが課題となっています。そこで、6年生の授業では①授業内容を理解する②分かったことを書く③書いたことを伝える、という3つの手だてに取り組むことにしました。



授業中の筆者

○授業内容を理解し、書くための手だて

授業内容を理解するために、どの教科でも「目標の明示」「前時の復習」「振り返り」という型を設けることにしました。特に算数では、

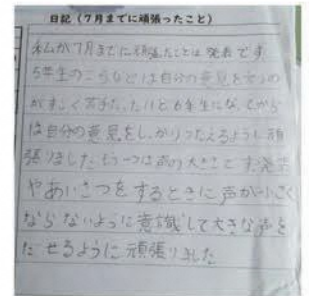


授業の板書

授業開始後5分間の復習時間を設けることで、復習を活用して本時の目標に迫る姿が見られました。「振り返り」では振り返る視点を「目標の達成とその理由」「新しい気付きと疑問」「友達の発言」に焦点化し継続して積み重ねることで、書くことが苦手だった児童も目標に対しての自己評価や次時に向けての感想などを書くことができるようになりました。

○多様な「伝える」場の設定

「伝える」ことに関しては6年生自身も「同じ人しか交流できていない」「発表する人が同じ」といった課題を感じていました。そこで意図的にグループを設定したり、ICTを活用して他校ともやりとりしたりして多くの友達と関わる機会を設けました。他校とGoogle classroomを共有することで、違う学校の児童同士でGoogle スライドを見合ったり、コメントを伝え合ったりすることができ、日常的に多様な場での交流が生まれています。その結果、7月には「発表ができるようになった」と答える児童が増え、今では教員が促さなくても自分たちで積極的に交流して意見を伝え合う姿も見られるようになりました。



子どもたちの7月の振り返り

○今後の課題

第1回学校評価アンケートでは「自分の考えを伝えることができた」と答える6年生の児童が81%にとどまり、まだ全員できたとは言えない現状が明らかになりました。今後は習熟度別の学習や自由進度学習を取り入れ、より一人ひとりに伝える力を育成できる授業づくりに努めていきます。



自分の考えを伝え合う児童

実践NOTE502 主体的な学びを育む授業を目指した校内研修

御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校 教諭 栗林 洋

はじめに

本校では、教育活動の核となる授業で、「主体的な学び」の姿を育みたいと考えています。そのためにを行っている研究実践を紹介します。

「そろえる」

①「観」をそろえる

本校では、教育活動の中で「自律」と「連帯」の力を育成することを目標としています。この資質・能力を授業の中でも高めるために研修テーマを設定しました。4月の校内研修で、



研修構想図

②目指す方向性をそろえる

「主体的に学ぶ姿」のイメージが授業者によってずれないように、本校の目指す主体的な学びの姿と、その姿に至るまでの過程を研修構想図としてまとめました。「生徒が主体的に学ぶ姿になるためには、どのような工夫をすればいいのか」について考え、授業づくりの方向性を全体でそろえる機会になりました。

「見合う」

気軽に授業を見合い、話し合える雰囲気を作ることを目標に「参観レポート研修」を行っています。いつでも、どこでも、誰の授業でも気軽に参観し、それをレポートにまとめ職員室に掲示します。決まった場ではなく、気軽に授業改善について話し合うよききっかけとなりました。

「教え合う」

GIGA スクール構想により、1人1台端末の活用が始まりました。情報主任に協力してもらい、ICT機器を上手に活用できている若手の教員たちに実践を発表してもらいました。若手の教員にベテランの教員が質問する姿が増え、さまざまな場面で得意を生かして教え合う雰囲気になりました。

参観日/学級/授業者/教科
7月22日(金) / 3年1組 / 栗林先生 / 数学
○授業で見つけた主体的な学びの姿
自由進度学習をテーマに、共通のゴールに向かって、一人一人の生徒が、自分なりに突き進んでいました。生徒は工夫を凝らし、オリジナルカラー溢れる勉強をしていました。
○授業で見つけた課題の工夫
共通のゴール(単元目標)をもとに生徒が突き進む姿が高かった。工夫がたくさんあり、ここでは語り切れませんが、単元のワークシートをすべて配っておく方法は、自分の授業でも実践してみたいな!と思いました。
○その他:良い点・参考にした点など
・十人十色の勉強法は大変参考になりました。
・生徒の進捗が速くなるための準備を参考にしたいです。
・自由進度学習など、様々な教育方法をもっと模索し、勉強したいと思いました。



参観レポート



校内研修の様子

生徒の主体的な学びを育むために

私が研修主任になって2年目になります。日々増える参観レポートや放課後の授業改善への会話が耳に入ると非常に励みになります。この研修という仕事、生徒が将来社会に出た時の生きる力につながると信じ、さらなる向上を目指して今後も取り組んでいきます。



授業の様子

第29回 静岡県図書館大会参加者募集!



令和元年度大会の様子

11月21日(月)、読書や図書館に関心がある人が集い、研修・交流する静岡県図書館大会を3年ぶりにグランシップ会場で開催します。(大学図書館分科会のみ11月28日(月)オンライン開催)
 午前の講演は「図書館職員の意識からサービス向上を考える」がテーマです。図書館員には、市民の困っていることをケアする行政人の意識があるでしょうか。自治体職員として、図書館職員としてどのように仕事をしたらよいか、一緒に考えてみませんか。午後は「大人の読書活動」や「学校図書館」など4分科会を開催します。参加無料、どなたでも参加できますが、事前申込が必要です(先着順)。

一つの作品ができるまで ~文芸編集者の作家伴走法~

第2分科会「大人の読書活動」では、株式会社新潮社 出版部部长 中瀬 ゆかり氏を講師に迎えます。

作品をよりよいものとするために奔走する編集者が、作品づくりや作家とのエピソード、編集者としての想い等をお話くださいます。

日時 令和4年11月21日(月)

13時45分~15時45分

会場 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ

申込締切 10月31日(月)

申込方法等
詳しくはコチラ



中瀬 ゆかり氏

【県立中央図書館企画振興課】 TEL 054-262-1246

総合教育センター STEAM教育基礎研修

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して~全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現~(答申)」の中で、「STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成」が取り上げられています。総合教育センターでは、平成31年度から始まったSTEM教育基礎研修を、今年度からSTEAM教育基礎研修に新たに名称を変え、大学教授や高校教員を講師に招いて2日間の研修を行いました。

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(リベラル・アーツ)、Mathematics(数学)を統合・体系化したSTEAM教育について、理系教科の先生に加えて、国語、公民、外国語が専門の先生も参加して一緒に学びました。

8月18日(木)

講演①

STEAM教育
教育改革の理論と実践について

講師：静岡大学教育学部
名誉教授・特任教授 熊野善介氏

実践発表

講師：静岡高等学校 教諭 鳥光高弘氏

講演②

日・米・アジアの比較

実践発表

バスタブリッジの作成



アメリカの取組について学び、21世紀型資質・能力について理解しました。



実践発表を聞いた後、3人組になって実際にバスタブリッジを作成しました。作成を通して、STEAMについて理解を深めました。

8月19日(金)

講演②

デザイン思考の
プロジェクト

講師：静岡文化芸術大学デザイン学部
教授 磯村克郎氏

実習

講師：掛川工業高等学校 教諭 山下友矢氏

講演②

デザイン思考



講演の後、大学の先生と交流、協議を行いました。共感→問題定義→発想→プロトタイプング→テストのサイクルが大切です。

実習

microbit



マイクロコンピュータを使い、LEDを点灯・点滅させたりするプログラミングを行いました。

参加者の感想

STEAM教育を取り入れるには、多くの先生の協力が必要であることがわかった。

STEAM教育に対し、「わかった」に加えて「知らない部分が多くもっと理解を深めたい」と感じた。

大事なことは文理を問わず、教科等横断的に学ぶ機会を設定することだと感じた。(複数)

理数科以外の生徒にも、課題研究や総合的な探究の時間などでSTEAM教育を取り入れていきたい。

期待以上の内容が体験できて感謝の気持ちしかない。

【静岡県総合教育センター】

「世界お茶まつり 2022 秋の祭典」

いよいよ開幕!

「世界お茶まつり」とは?

3年に一度開催し、静岡県から世界に向けてお茶の魅力を発信する「お茶の総合博覧会」です。8回目の今回は、10月20日(木)~23日(日)の4日間、「グランシップ」(静岡市)で開催します。

見どころは「お茶 × ○○」

様々なお茶を購入できる「ワールドO-CHAマーケット」や、世界の茶文化を体験できる「世界の路上茶屋」などのプログラムを展開します。

今回の見どころは、「お茶 × ○○」。「お茶 × スイーツ」「お茶 × チョコレート」「お茶 × アウトドア」「お茶 × ヨガ」など、新たな生活様式に合ったお茶の楽しみ方を提案します。

開催テーマは「O-CHAで元気な笑顔!」

「お茶を楽しむ世界中の人々を、お茶のおいしさと健康効果で元気に、笑顔にしたい!」そんな願いを込めて開催する今回のお茶まつり。事前予約が必要なプログラムもありますので、HPやSNSをチェックいただき、ぜひ会場へお越しください。



お茶×スイーツ



お茶×アウトドア

日時 10月20日(木)~23日(日)

10:00~16:00 ※20日(木)のみ12:00から

入場料 無料

会場 静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」(静岡市駿河区東静岡)

▼詳しくはコチラ

問合せ 第8回世界お茶まつり実行委員会事務局
(静岡県お茶振興課) 054-202-1488



【お茶振興課世界緑茶班】

志榛地区新構想高等学校の校名を募集します

令和6年4月に開校する志榛地区新構想高等学校の校名を募集します。多様性や自由を尊重する新しい教育の象徴となる高校にふさわしい校名をお寄せください。



静岡発アイドルグループ・fishbowlは静岡県内の高校生を応援しています!

応募方法

次の事項を記入し、はがき、ふじのくに電子申請サービスのいずれかで応募してください。(1回の応募につき1校名)

- ①校名案(ふりがな) ②校名案の由来(理由やイメージ) ③住所 ④氏名 ⑤電話番号

応募先 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 高校教育課学校づくり推進班宛

ふじのくに電子申請サービスはこちらからアクセス!

応募締切 令和4年10月21日(金)当日消印有効

校名発表 令和5年3月(予定)※採用者には記念品を贈呈します(多数の場合は抽選)

※応募数で校名が決まるものではありません。



学校の特徴 志榛地区新構想高等学校(普通科)の概要

① 探究モデル校+グローバル拠点校

探究学習を推進し、県内公立初の国際バカロレア(IB)教育導入を目指す。

●探究学習

生徒自身が課題を設定し、解決に向けて情報収集したり周囲の人と協働したりして進めていく学習活動。

●国際バカロレア

世界的な教育プログラムの一つ。最終試験をクリアすると、海外大学の受験資格を得られる。

② 自由な校風

・多部制単位制の「フレックスハイスクール」で、大学のように自分のペースで通学時間や時間割を決められる。制服もない。
・興味・関心に応じて多様な科目を選択できる。

IBの概要はこちら!



【高校教育課】

食品ロス を減らす取り組みを教えてください!

県では、食品ロスを減らすために実践している方法やアイデアをInstagramから募集しています。

野菜の捨ててしまう部分を使ったレシピや、学校内で実施するフードドライブなど、個人に限らず、取り組みについてぜひ教えてください。



応募期間

10月1日(土)から
11月30日(水)まで

詳しくは県HPを御覧ください



【廃棄物リサイクル課】 TEL 054-221-3349

みる誕生 鴻池朋子展

「『観客はもはや人間だけではない。』人間の視点中心だったこれまでの芸術は、今、地球規模での問題と共に大きな転換期を迎えている」。そう考えるアーティスト鴻池朋子が、令和2年の個展「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館)で試みた、従来の美術館の仕組みから観客を解放する取り組みを、さらに発展させようとし、ぜひ新たな美術館を体感してください。

《高松 皮トンビ》2022



《アースベイビー》2009



※()は前売りおよび20名以上の団体料金
※収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

開催日

11月3日(木・祝)~
令和5年1月9日(月・祝)

主催=静岡県立美術館/静岡新聞社・静岡放送

開館時間	10:00~17:30 (展示室への入室は17:00まで)
休館日	月曜日(ただし、1月2日(月)と1月9日(月・祝)は開館)
休館日(年末年始)	令和4年12月27日(火)~令和5年1月1日(日)
観覧料	一般1,200円(1,000円) 70歳以上600円(500円) 大学生以下無料

【静岡県立美術館総務課総務班】

静岡県立工科短期大学校

令和5年度入学生募集!!

ものづくりの基礎技能から最先端の技術までを教育し、次世代のものづくりに対応できる実践的なリーダーを育成する静岡県立工科短期大学校では、令和5年度入学生を募集します。

募集日程	区分	出願受付期間	試験日
第2回	学校長推薦選抜	令和4年11月22日(火)~12月6日(火)	令和4年12月17日(土)
	一般選抜		
第3回	一般選抜	令和5年1月18日(水)~2月1日(水)	令和5年2月11日(土)

キャンパス	科名	募集人員		募集人員
		学校長推薦	一般	
静岡	機械・制御技術科	22名程度	8名程度	機械・制御技術科 電気技術科 建築設備科
	電気技術科	15名程度	5名程度	
	建築設備科	15名程度	5名程度	
沼津	機械・生産技術科	15名程度	5名程度	機械・生産技術科 電子情報技術科 情報技術科
	電子情報技術科	15名程度	5名程度	
	情報技術科	15名程度	5名程度	

※第2回入試の学校長推薦の募集人員は第1回入試の学校長推薦の合格者数によって、第3回入試の募集人員は、第2回入試の合格者数によって決まります。詳細はHPで確認してください。

- 試験科目 数学I、面接
- 受験料 18,000円
- 試験会場 静岡県立工科短期大学校 静岡キャンパス(JR東海道線「草薙駅」から徒歩12分)
- 授業料 234,600円(年額)
- 入学金 84,600円(県内在住) 219,900円(県外在住)

問合せ先

電話 054-345-2033

メール koutan_kyomu@pref.shizuoka.lg.jp

URL https://scot.ac.jp/admissions/

【静岡県立工科短期大学校 静岡キャンパス】

広告

いま、高校生たちの発想がオモシロイ。



主催:電気新聞(一般社団法人日本電気協会新聞部) 共催:静岡新聞社・静岡放送
事務局:一般社団法人日本電気協会新聞部(電気新聞)メディア事業局内 第4回 高校生が競うEnergy Pitch!事務局 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階 Tel:03-3211-1555 E-mail:energypitch@denkishimbun.com

エネルギーピッチ



協力

SHIZGAS

鈴与商事 Suzuyo

中部電力

第4回 高校生が競うEnergy Pitch!

“30年後の現役世代”が2050年を構想する 社会の課題解決 with Energy プラン コンテスト

2022年 11月19日(土)~20日(日) 会場:グランシップ

予選(19日)会議ホール・風

本選(20日)中ホール・大地 ※一般公開、事前申込制(定員300名)

聴講申込、詳細な活動内容についてはホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、開催方法を変更する場合があります。予めご了承ください。